

[CASE 06]

さいとう さとこ 齊藤 里子さん

尾花沢市女性消防団員

地域との絆を育み 新しいことに挑戦できる場所



普段は尾花沢市内の企業で事務の仕事をする齊藤さんは、何か新しいことにチャレンジしたいという思いから入団。姉妹・知人と誘い合っでの入団で、尾花沢市では初めて女性消防団員が誕生することになりました。

「入団してからは、応急手当普及員の資格を取得するなど、さまざまな活動に取り組んでいます。消防団員向けの応急手当講習会では、指導のお手伝いもしました」

困っている人を助けられるようになりたいと、積極的に消防団活動に取り組む齊藤さん。活動を続ける中で心境にある変化が生まれたと言います。

「例えば事故にあった車などを見かけると手助けをした方がいいかなと思ったり、外出した際にも近くにAEDがあるか確認するようになるなど、日常生活でも安全意識が高まったと感じています。また、いざという時に町を守る人材を増やすために、団員をさらに増やしていきたいと考えようになりました。女性でも消防団員として活躍する人がいることを知らない人が多いので、たくさんの人に知ってもらうためにも、消防団活動のPRに挑戦していきたいですね」

Q1 どんな活動をしていますか？

主に、消防演習や各種行事では司会進行を務め、応急手当普及員の資格を取得していることから、他の消防団員への指導などを行っています。

応急手当普及員の資格を取得して応急手当に関するスキルを身に付ければ、より多くの人を助けることができるので、沢山のの人に取得していただきたいと思います。

Q2 入団して良かったと思うのはどんな時ですか？

普段の生活で話すことがなかった方たちと知り合えた時や、団員同士で楽しく話している時に入団して良かったと感じます。また活動していると地域の人に顔を覚えてもらうことができ、会話のきっかけができるので、地域とのつながりが増える場所でもあります。



消防団は女性も活躍している場所です。ぜひ一緒に活動しましょう！



1. 消防演習のパレードの様子
2. 消防演習での司会進行の一コマ
3. 三姉妹で楽しく活動しています

2

3